

● 生き×居きコミュニティ

事業名：就労の悩み・モヤモヤ座談会

助成金額：83,300円

応募事業概要：職場内の悩みやモヤモヤを気軽に無理なく話せる座談会を開催する事業

講評：組織の中で様々な壁に直面した時(特に就労上の悩みやモヤモヤ)、気軽に相談出来る心のバランスを保つ場を提供している。家族やあるいは所属組織とは違う息抜きが出来る"踊り場"が必要な時期なのだと感じています。一度立ち止まって周りを見て、これからの事を冷静に判断して欲しいと願っています。潜在的に人間関係で悩んでいる若者は多くいます。

助成事業報告：青少年・若者の就労する上での悩み・モヤモヤを気軽に雑談できる場を実施した。参加者からのアンケートから、ゆるさとシリアスさが行き来し話しやすかった、就労先や支援事業所等の不満を吐き出せた、交流を通じて就労への意欲を高めた、色んな状況下で頑張っている人達と交流ができた、等の声を頂いている。就労のモヤモヤを気軽に話せる場づくりに繋がった。



● NPO法人ここだね

事業名：無料相談・無料学習支援事業

助成金額：200,000円

応募事業概要：フリースクール終了後の時間と場所を使い無料の相談と学習支援を行う事業

講評：当ファンドによる助成での事業が、年度末を待たずに助成額に達して終了したという実情から、無料での相談・支援のニーズの高さを感じ、昨年度に引き続き応援したいと考えました。すべての子どもに学びの機会が保障されるよう、事業の必要性を積極的に発信していくことを期待しています。

助成事業報告：4月～7月と11月～3月の間「フリーピース」という名称で、フリースクール終了後の時間と場所を使って、子どもたちの学習機会の確保と、見学相談に来る親子と、保護者の心のケアを無料で行ないました。両方の支援で、期間中134枠、のべ171名の支援を行なうことができました。助成金を活用して無料支援ができたことで、経済的な課題を解決でき、相談に来られる方々のハードルを下げることは大きな成果です。



● NPO法人街の家族

事業名：街の家族子育て応援プロジェクトステージ3
乳幼児一時預かり保育事業「まんまる一む」
助成金額：180,000円

応募事業概要：親子の集いの広場を利用した一時預かりと妊娠期の親向けイベントの開催

講評：三世代交流による子育て支援をしていく中で明らかとなった、「既存の一時保育制度は利用しにくい」という現実のニーズに応える形で始まった事業であり、地域に必要とされた存在であると評価しています。「地域で子育てする」という主旨に賛同し、応援したいと考えました。今後も、「地域で子育てをする」意義を発信していただきたいと思います。

助成事業報告：多世代交流コミュニティハウス「街の家族」で生まれた一時預かり保育「まんまる一む」は、本助成をいただき、より地域に密着した活動を推進することができました。無料体験保育の開催により登録者数が増え、一年で新規登録数は23世帯、利用数は25世帯となりました。また、各種イベントの開催を通して、妊娠期から幼児期にかけての地域のサポートや繋がり的重要性、また一時預かりのニーズを感じることができました。



● 常設子育てサロンちっちゃなて

事業名：子育てサロンの運営

助成金額：200,000円

応募事業概要：週3回の子育てサロンを安心して安定的に運営する事業

講評：気軽に利用できる地域の子育てサロンとして、新たに立ち上がるこども食堂等を通じてさらなる理解者を増やし、地域になくってはならない居場所として運営されることを期待しています。継続的に運営できるよう、公共性や存在価値を高め、さらに行政からの委託金の拡充を要望することも合わせて交渉ください。

助成事業報告：私たちは、いただいた助成金をスタッフの人件費に宛てさせていただき年度末にそれぞれの従事時間数で割って支給させていただきました。同じ事業を長く続けていく中で、スタッフの数も徐々に減り、残った者の負担がますます重くなるなかであって、その苦難に報いることのできる大きな材料となりました。事業の立ち上げから5年が経過しましたが、その間の3年間をファンドの助成金に支えられ、安定運営が確立できたため、今では地元に着用することができています。



● 特定非営利活動法人こどもの広場もみの木

事業名：「こどもの広場」を核にした地域における子育てを支え合う
ピアサポートコミュニティづくり

助成金額：200,000円

応募事業概要：森のようちえんの子どもたちのコミュニティ「こどもの広場」での研修の
実施事業

講評：長きに渡り、インクルーシブな自主保育、園舎をもたない森のようちえん活動を展開し、加えて親同士が互いに学び合うためのピアサポートコミュニティづくりを推進されており、今後の活動に期待しています。子育てを通じた大人の連携・共同が、子どもの理解と尊重、予防型の地域づくりに発展するよう応援しています。

助成事業報告：地域の子育てピアサポートの仕組みの確立を目指し次の事業を開催。会員向け子育てピアサポート研修では「子どもとつくる保育の実践から子ども・自然への理解を深める研修」を基礎とした上で実践研修を行い、さらに全会員と保育者が顔を合わせる学習会を実施。親が陥りやすい課題が見え次年度へ繋がりました。地域の小さい子どもたちの遊びの会では、同じ地域に住む親子同士で新たに出会うことができ、子どもに即した子どもとつくる保育への共感の輪が広がりました。



● 特定非営利活動法人BONDプロジェクト

事業名：bond Project@かながわ
—10代20代の女の子のための相談室—
助成金額：200,000円

応募事業概要：10代20代女性の相談者向けのカフェ型相談室を開設する事業

講評：困難を抱えても身近な親や大人に頼ることができない女の子たちを受けとめる居場所の必要性を切実に感じます。開設されたカフェ型相談室が、コロナ下で困りごとや苦しさが増した10代20代の女性にとって、気軽に立ち寄れて、安心して話ができる人とリアルにつながれる場となることを願っています。また、貴団体の活動を通して、生きづらさを抱える若年女性の声を地域社会に届けてほしいと思います。

助成事業報告：bond Project@かながわ相談室は2020年にオープンしましたが、コロナ禍でステイホームが求められ、人と人との繋がりが希薄になっていた中でも、様々な困難を抱えた若年女性が対面で相談ができる場所が必要だと感じ、感染防止対策を取りながら面談を受け続けてきました。コロナが落ち着き、人数制限も解除されたことから、より多くの女性の面談を受けられるよう、面談用机を整えるために助成金を使わせていただきました。



● 特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア

事業名：家庭訪問型子育て支援ホームスタート

助成金額：130,000円

応募事業概要：未就学児がいる家庭を対象に家庭訪問型子育て支援を実施する事業

講評：コロナ下で外出もままならず不安や孤立感を強めている親子を、地域のボランティアが支える仕組みとしてホームスタートが広がることを期待します。家庭訪問時の感染予防対策にご苦労されていることと思いますが、今後、利用者とビジターが順調に増えていくよう、利用者の声や成果を積極的に発信していかれるとよいと思いました。

助成事業報告：ホームスタートの活動を開始して3年が経過し、コロナ禍であっても少しずつ訪問件数が増え2021年度28件から2022年度51件になりました。ビジターの登録数27名うち21名が活動し、依頼が来たエリアで家庭のニーズに意欲的に思いやりをもって傾聴・協働したことで保護者のエンパワメントに繋がりました。交通費を支援して頂き、オーガナイザーとビジターが直接訪問するホームスタート本来の活動ができました。

